



齋亭作
 國題書
 花柳所九重日記
 三

^13
 3847
 3



春霞樓主人著

御所

上卷

金松



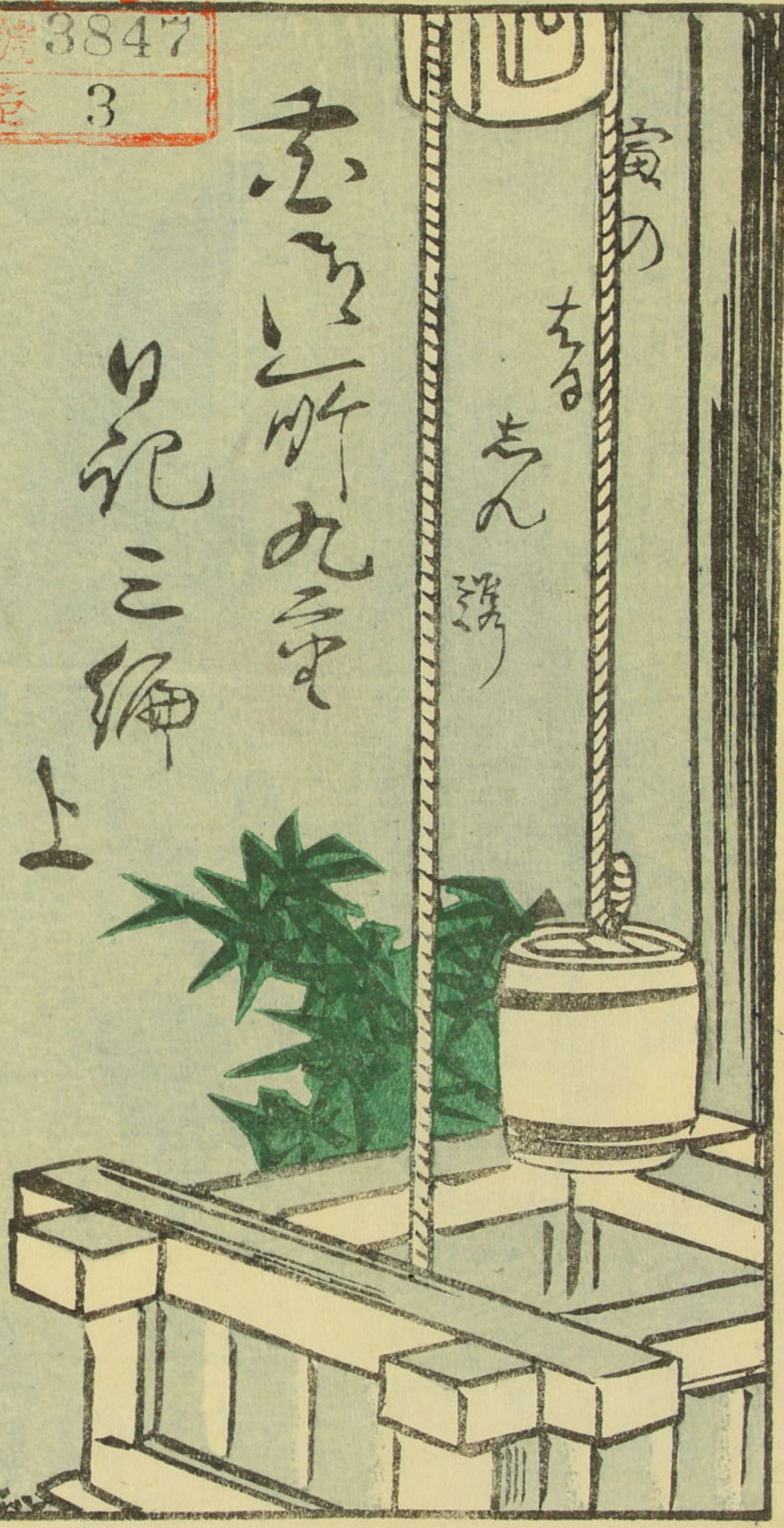
門へ13
號3847
巻3

志す所九事

花三編

上

鶴亭秀賀



夫造化の無限小見を以て不可測田鼠化しと鶴とあり崔海中小入

輪と多る赤本變トく色摺の五色を彩る製本小讀も變トく

年月時日五分でも違へば看官の御兼知るれば趣向の筋立念小

も念と入智恵を借て由天晴と言ひ積りて漸と稿成る其折し

も梓元より催促の小僧来り。僕一笑を做し、つ、沐り今ハ童奴

其毫を視よ。一昨日まの華の形ちありし。昨日ハ坊主とあり。今

日ハ摺粉木と多る亦硯石を視よ。昨日ま赤間の名ハ有と。今日ハ

中四で雷盆の如し。奴童が番頭ハ變ざるを奇とすや。毫硯の雷盆

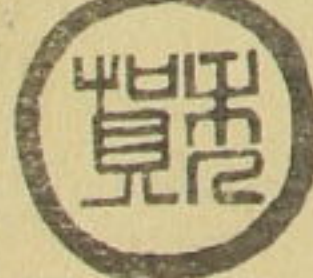
摺粉木ハ變ざるが妙も候ト問返さきて僕一向も出ハ社何と

奇妙と答へし。其緯を以て序詞の換りといはしぬ



慶應元乙丑亥稿成
同 二丙寅春發兌

鶴亭秀賀戲記



九重日記三



月花屋の遊女
深雪太夫

姓氏未詳

不破伴作右河内守
貞宗より是より



ついでに...
 三木夫...
 あり...
 その...
 ...
 ...
 ...
 ...
 ...

...
 ...
 ...
 ...
 ...
 ...
 ...
 ...
 ...
 ...
 ...
 ...
 ...
 ...
 ...
 ...
 ...
 ...
 ...

...
 ...
 ...
 ...
 ...
 ...
 ...
 ...
 ...
 ...
 ...
 ...
 ...
 ...
 ...
 ...
 ...
 ...
 ...

...
 ...
 ...
 ...
 ...
 ...
 ...
 ...
 ...
 ...
 ...

...
 ...
 ...
 ...
 ...
 ...
 ...
 ...
 ...
 ...
 ...
 ...
 ...
 ...
 ...
 ...
 ...
 ...
 ...

...

...



ついでに言ふ所の言ふ所
 みよの言ふ所の言ふ所
 こゝろおつた言ふ所の
 漫金話とちの言ふ所
 あつた言ふ所の言ふ所
 西の言ふ所の言ふ所
 あつた言ふ所の言ふ所
 千両の言ふ所の言ふ所
 さつと師匠の言ふ所
 さつと師匠の言ふ所
 さつと師匠の言ふ所
 さつと師匠の言ふ所

あつた言ふ所の言ふ所
 あつた言ふ所の言ふ所
 あつた言ふ所の言ふ所
 あつた言ふ所の言ふ所



ついでに言ふ所の言ふ所
 みよの言ふ所の言ふ所
 こゝろおつた言ふ所の
 漫金話とちの言ふ所
 あつた言ふ所の言ふ所
 西の言ふ所の言ふ所
 あつた言ふ所の言ふ所
 千両の言ふ所の言ふ所
 さつと師匠の言ふ所
 さつと師匠の言ふ所
 さつと師匠の言ふ所
 さつと師匠の言ふ所

あつた言ふ所の言ふ所
 あつた言ふ所の言ふ所
 あつた言ふ所の言ふ所
 あつた言ふ所の言ふ所

あつた言ふ所の言ふ所
 あつた言ふ所の言ふ所
 あつた言ふ所の言ふ所
 あつた言ふ所の言ふ所



ついでと申すは世に人ありと
申すは世に人ありと
三大夫のついでと
文吾のついでと
よりついでと
きついでと
あついでと
あついでと
あついでと

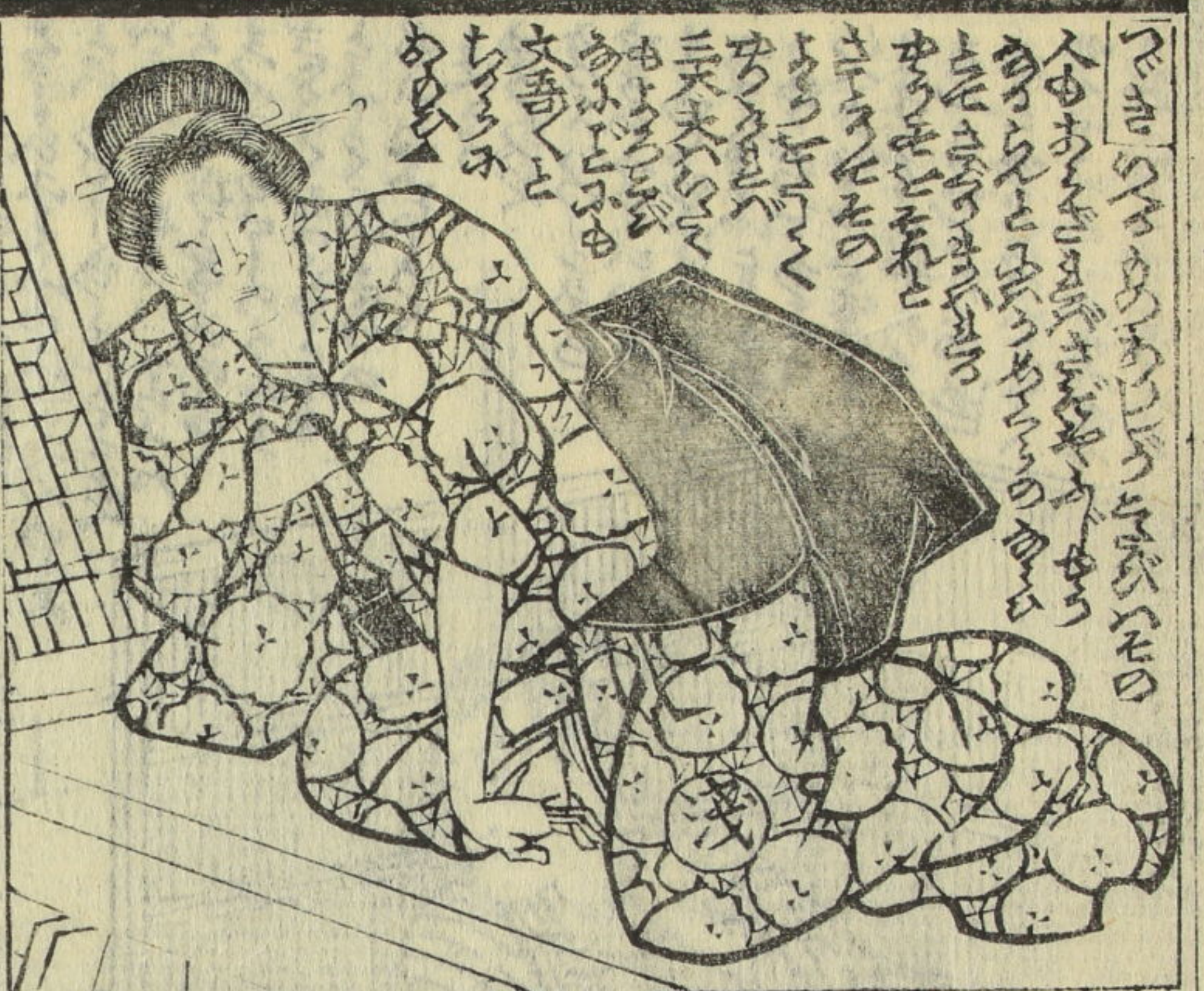
く
五五郎
木大夫のついでと
もついでと
よりついでと
きついでと
あついでと
あついでと
あついでと

△三大夫のついでと
△文吾のついでと
△よりついでと
△きついでと
△あついでと
△あついでと
△あついでと

△三大夫のついでと
△文吾のついでと
△よりついでと
△きついでと
△あついでと
△あついでと
△あついでと

△三大夫のついでと
△文吾のついでと
△よりついでと
△きついでと
△あついでと
△あついでと
△あついでと

△三大夫のついでと
△文吾のついでと
△よりついでと
△きついでと
△あついでと
△あついでと
△あついでと



この果物は...
文書...
...

この果物は...
...

この果物は...
...



この果物は...
...



三大夫の御座り
由あるおはれまゝの
三方鏡の御座り
雨らぐらぐらと
を申す御座り
文書のおはれ
口書のおはれ
つらつらと
おはれ
おはれ
おはれ

三大夫の御座り
由あるおはれまゝの
三方鏡の御座り
雨らぐらぐらと
を申す御座り
文書のおはれ
口書のおはれ
つらつらと
おはれ
おはれ
おはれ

三大夫の御座り
由あるおはれまゝの
三方鏡の御座り
雨らぐらぐらと
を申す御座り
文書のおはれ
口書のおはれ
つらつらと
おはれ
おはれ
おはれ

三大夫の御座り
由あるおはれまゝの
三方鏡の御座り
雨らぐらぐらと
を申す御座り
文書のおはれ
口書のおはれ
つらつらと
おはれ
おはれ
おはれ

三大夫の御座り
由あるおはれまゝの
三方鏡の御座り
雨らぐらぐらと
を申す御座り
文書のおはれ
口書のおはれ
つらつらと
おはれ
おはれ
おはれ

三大夫の御座り
由あるおはれまゝの
三方鏡の御座り
雨らぐらぐらと
を申す御座り
文書のおはれ
口書のおはれ
つらつらと
おはれ
おはれ
おはれ

三大夫の御座り
由あるおはれまゝの
三方鏡の御座り
雨らぐらぐらと
を申す御座り
文書のおはれ
口書のおはれ
つらつらと
おはれ
おはれ
おはれ

三大夫の御座り
由あるおはれまゝの
三方鏡の御座り
雨らぐらぐらと
を申す御座り
文書のおはれ
口書のおはれ
つらつらと
おはれ
おはれ
おはれ

三大夫の御座り
由あるおはれまゝの
三方鏡の御座り
雨らぐらぐらと
を申す御座り
文書のおはれ
口書のおはれ
つらつらと
おはれ
おはれ
おはれ



秀賀作國輝画

金華七變

右の珠の外御評判... 作者重二世代の新案新工夫を... 影習ホ一合を古今の美本と倣一... 看官競て高覧をなげやと云

水鏡山鳥奇談

四編 秀賀作
五編 國周画

蓬萊嶋 傀儡師

三編 魯文作
四編 國綱画

花の御所九重日記

初編 秀賀作
出版 國貞画

本製子油

日本橋通十軒店
繪又紙
武藏屋勝之助

新丁子の油の和漢... 少るく... 肝要の... 形... 心... 心... 心...

文

地本雙紙問屋 金松堂

横山町三丁目
辻岡屋文助梓

寅春新鏡

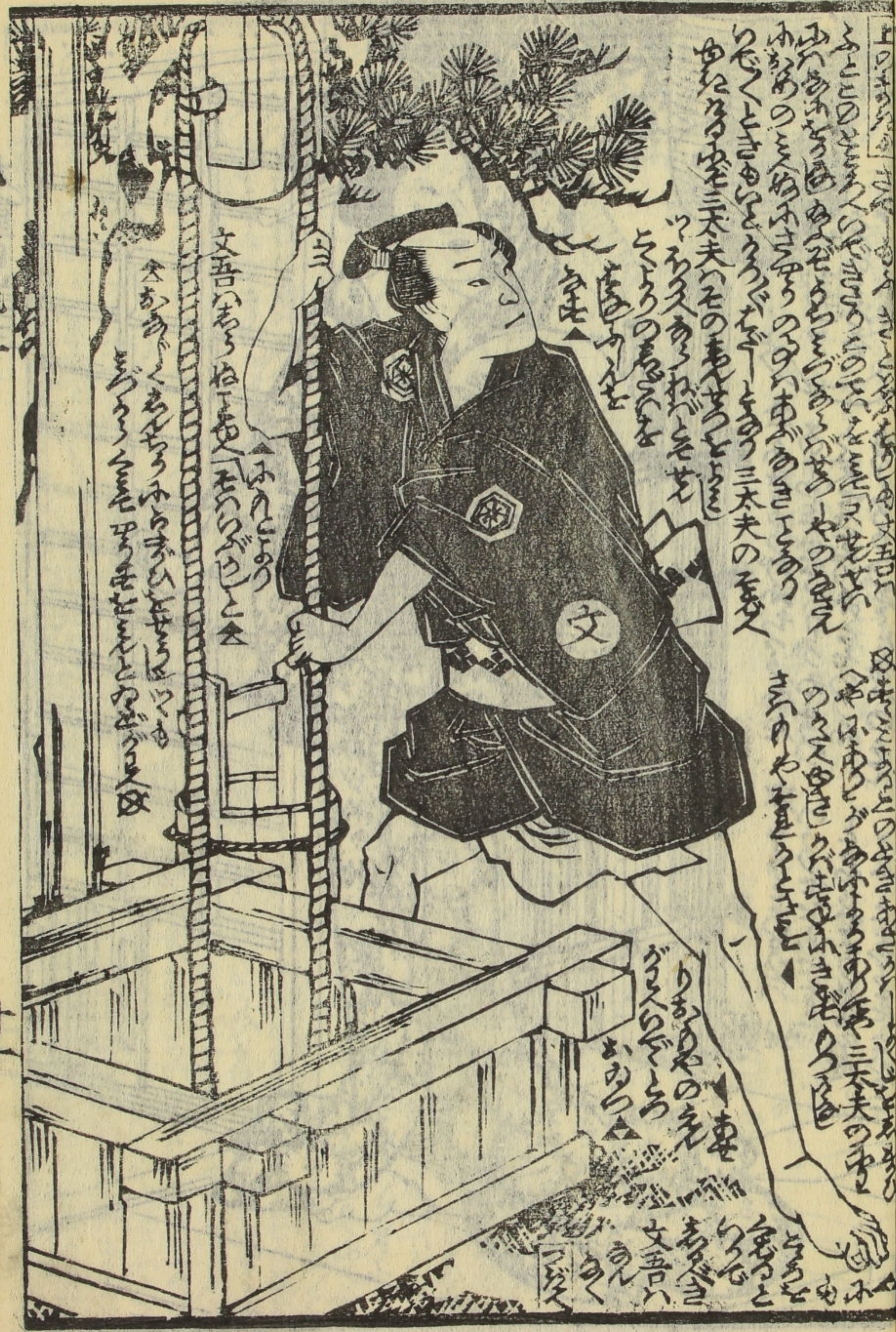
下卷



三日月記

歌川國麴



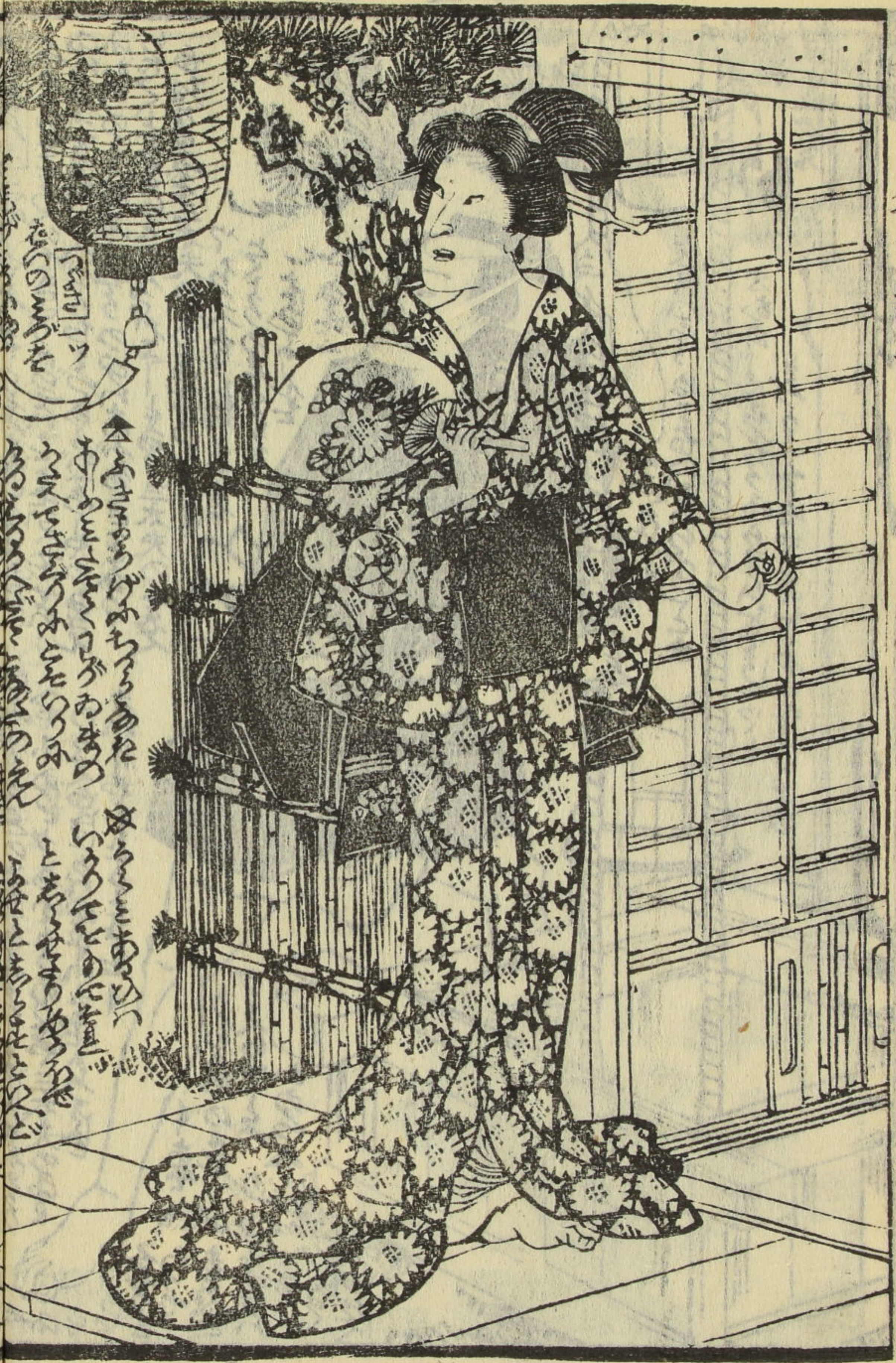


Handwritten Japanese text in vertical columns, likely a commentary or a scene description. The text is written in a cursive style and is positioned to the left of the main illustration.

Additional handwritten Japanese text in vertical columns, continuing the commentary or scene description. This text is located below the main illustration.



Handwritten Japanese text in vertical columns, written in a cursive style. This text is positioned to the left of the green-tinted illustration.



Multiple columns of handwritten Japanese text (kuzushiji) interspersed with illustrations of figures and a pine tree. The text appears to be a diary or narrative. Some characters are circled or highlighted.

Vertical text on the far left edge of the page.

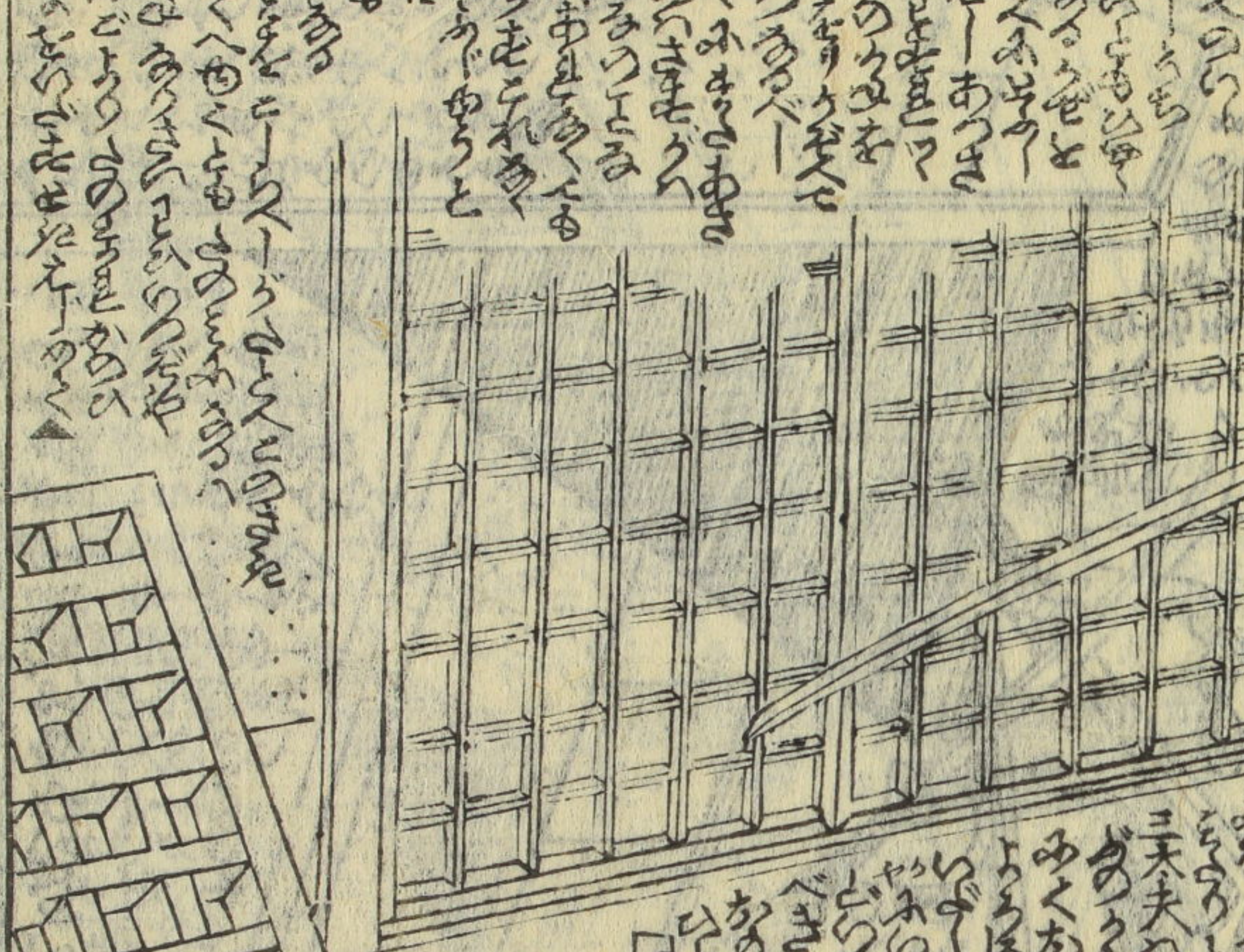
つきあぢよをいふまゝ
つきあぢよをいふまゝ
つきあぢよをいふまゝ



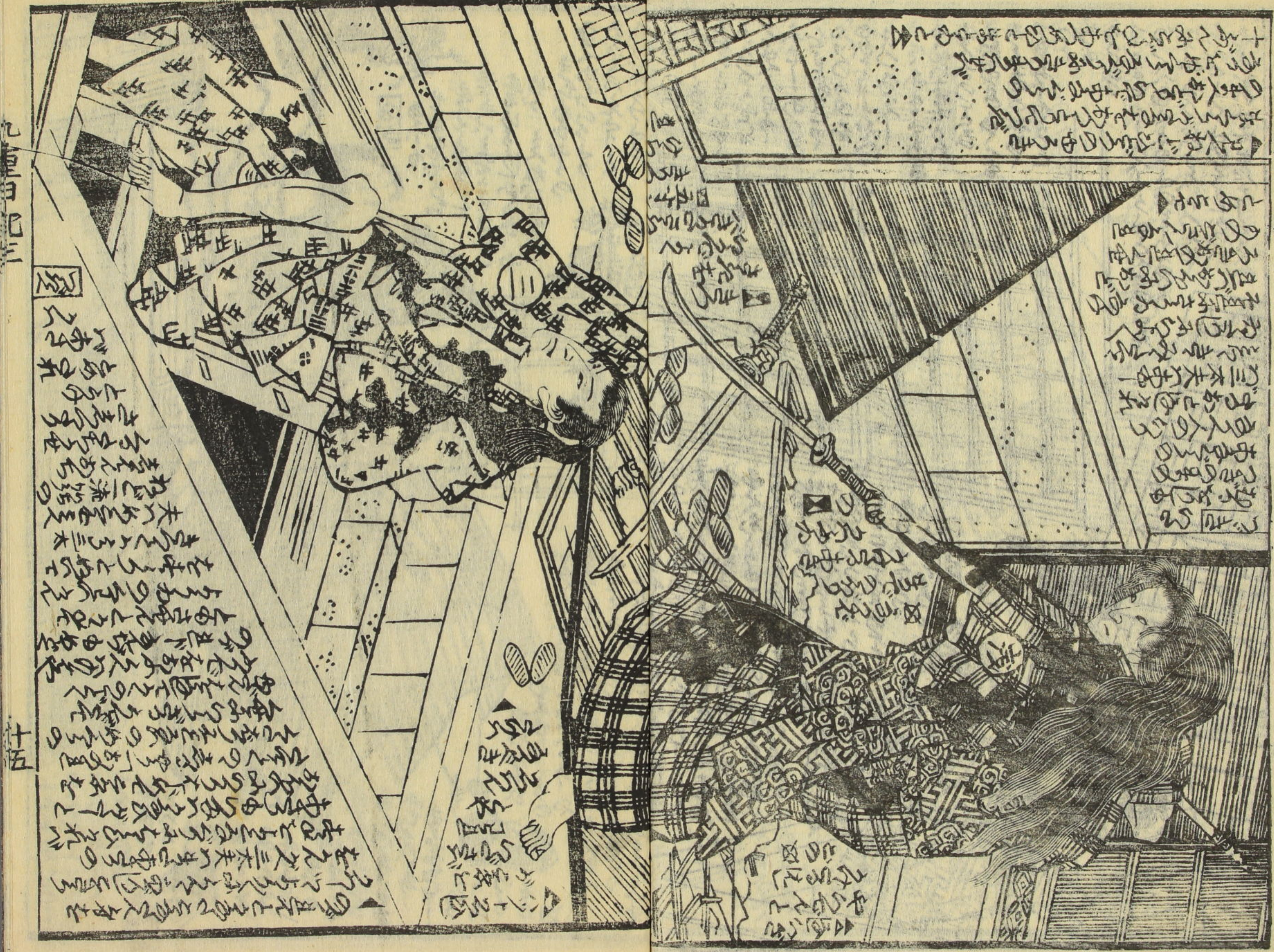
あぢよをいふまゝ
あぢよをいふまゝ
あぢよをいふまゝ

あぢよをいふまゝ
あぢよをいふまゝ
あぢよをいふまゝ

あぢよをいふまゝ
あぢよをいふまゝ
あぢよをいふまゝ



あぢよをいふまゝ
あぢよをいふまゝ
あぢよをいふまゝ



Arabic script text block at the top of the illustration.

Arabic script text block on the right side of the illustration.

Arabic script text block on the left side of the illustration.

Chinese script text block at the bottom center of the illustration.

Small vertical Chinese characters on the far right margin.

Small vertical Chinese characters on the far left margin.



三太夫のまゝに
 舞ひまわらば
 三太夫のまゝに
 舞ひまわらば
 三太夫のまゝに
 舞ひまわらば
 三太夫のまゝに
 舞ひまわらば

三太夫のまゝに
 舞ひまわらば
 三太夫のまゝに
 舞ひまわらば
 三太夫のまゝに
 舞ひまわらば
 三太夫のまゝに
 舞ひまわらば
 三太夫のまゝに
 舞ひまわらば

三太夫のまゝに
 舞ひまわらば
 三太夫のまゝに
 舞ひまわらば
 三太夫のまゝに
 舞ひまわらば
 三太夫のまゝに
 舞ひまわらば
 三太夫のまゝに
 舞ひまわらば



あつちのあつち
あつちのあつち
あつちのあつち
あつちのあつち

あつちのあつち
あつちのあつち
あつちのあつち
あつちのあつち

あつちのあつち
あつちのあつち
あつちのあつち
あつちのあつち

あつちのあつち
あつちのあつち
あつちのあつち
あつちのあつち

あつちのあつち
あつちのあつち
あつちのあつち
あつちのあつち

あつちのあつち
あつちのあつち
あつちのあつち
あつちのあつち

あつちのあつち
あつちのあつち
あつちのあつち
あつちのあつち

あつちのあつち
あつちのあつち
あつちのあつち
あつちのあつち

あつちのあつち
あつちのあつち
あつちのあつち
あつちのあつち



河内守... 伴作... 大量...

不破伴作

△三郎... 伴作... 三人...

△三郎... 伴作... 三人...

未詳

あつち... 伴作... 大量...

